

2025 年度 事業報告書

(2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで)

I 公益目的事業の実施状況

(1) ジェンダー問題に関する研究・調査

第 3 期プロジェクト研究会を 6 名の参加を得て 4 回開催し、研究成果として書籍の発行をめざし、研究を本格化させた。

＜研究テーマ＞

「男女雇用機会均等法及びパート労働法に関する立法過程の研究」

- ・第 2 回：2025 年 4 月 7 日（月）
- ・第 3 回：2025 年 7 月 7 日（月）
- ・第 4 回：2025 年 10 月 6 日（月）
- ・第 5 回：2026 年 1 月 29 日（木）

(2) ジェンダー問題に関する研究への助成

① 個人研究助成

若手研究者を対象に、男女共同参画社会の形成に資する研究テーマを公募し、選考の上、助成した。

- ・募集期間 2025 年 4 月 15 日～5 月 31 日
- ・応募総数 43 名
- ・審査委員会 2025 年 6 月 17 日（火） 当研究所にて選考会議
- ・受託者（4 名）

＊大沼 敦子

「ジェンダー平等啓発資料に潜む『差別表現例示』のパラドックス

——『男のクセに』『女のクセに』がもたらす負の伝播と再生産プロセス」

＊生木 新菜

「女性なぜ排除されたのか？

——母性・国家・市民権の交錯にみるイタリア女性選挙権の不成立構造」

＊渡邊 麻友

「ナミビア福音ルーテル教会における女性牧師の躍進

——ジェンダー平等政策に着目して」

＊瑞秀 昭葉

「19 世紀後半から 20 世紀初頭ドイツにおける愛と友情の境界

——ホモエロティシズムの周縁化と異性愛主義の強化」

- ・助成金額 計 185 万円（50 万円×2 名、42 万円、43 万円）

② 団体研究助成

ジェンダー問題を研究している団体の研究計画を公募し、選考の上、助成した。

- ・募集期間 2025 年 4 月 15 日～5 月 31 日

- ・応募総数 3 件
- ・審査委員会 2025 年 6 月 17 日（火） 当研究所にて選考会議
- ・受託団体 2 件

＊英語教育とジェンダーの歴史研究会

「女子ミッションスクールにおける英語教育とジェンダーの歴史
——第二次世界大戦前後の転換に着目して」

＊文献資料と統計分析を通じた日本人の意識形成過程の検証研究会

「「ジェンダー平等意識」と歴史・文化的背景との関連性に関する、文献資料と統計データを用いた検証 ——異なる歴史・文化的背景を持つ沖縄県との比較から」

- ・助成金額 計 30 万円 (15 万円×2 団体)

(3) ジェンダー問題に関するシンポジウム、フォーラム等の開催

ジェンダー問題に対する理解・意識の普及や啓発のため講演会、報告会等を開催した。

開催については、ホームページ掲載、ニューズレターでの紹介、開催案内の発送や関係先での配布により受講の機会が広く一般に開かれるよう努めた。

① 講演会

日常の中で当たり前に取り入れているデザインを、ジェンダーを起点にして考える講演会を開催した。

- ・テーマ 「ジェンダー視点でひもとく当たり前のデザイン」
- ・講師 池田美奈子さん (Edit-and-Design 主宰、編集者・デザイン研究者、九州大学客員教授)
- ・日時 2025 年 9 月 27 日（土）13 時 30 分～16 時
- ・会場 名古屋都市センター特別会議室
- ・参加費 無料
- ・参加者 48 名

② 個人研究助成受託者報告会

前年度の個人研究助成受託者が、研究成果を中間発表するための報告会を開催した。

- ・日時 2025 年 7 月 5 日（土）12 時 50 分～17 時 20 分
- ・会場 東海ジェンダー研究所 セミナー室
- ・報告者

＊小林亜伽里さん（オックスフォード大学大学院／慶應義塾大学大学院）（オンライン報告）
「西洋文学史上最初の女性の職業作家、クリスティーヌ・ド・ピザンの著作『運命の変転の書』（1403 年）におけるトランスジェンダー的著者性の分析」

＊石幡祐輔さん（デューク大学経済学部博士課程）（オンライン報告）
「ジェンダー先進国における出生率低下の要因に関する経済学的分析」

＊波塚奈穂さん（東京大学大学院総合文化研究科博士後期課程）
「パナマ先住民女性の社会的・政治的地位向上の要因—オマール・トリホス政権下の教育改革に着目して—」

＊余楽さん（お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科ジェンダー学際専攻

博士後期課程)

「〈長女〉に生まれるということ——湖北省農村における姉弟関係とジェンダー——」

＊坂田舜さん（九州大学人文科学府イスラム文明史学専修博士後期課程）

「地方紙に見る 1950 年代のトルコ共和国東部における女性」

- ・参加費 無料
- ・参加者 22 名

終了後、報告者を交えて交流会を開催した。

③ 講座

日本国憲法における天皇制と性差別の問題を考える講座を開催した。

- ・テーマ 「天皇制と性差別」
- ・講師 西村裕一さん（慶應義塾大学大学院法務研究科教授）
- ・日時 2026 年 2 月 14 日（土）13 時 20 分～15 時 40 分
- ・会場 名古屋大学ジェンダー・リサーチ・ライブラリ（GRL） レクチャールーム
- ・後援 名古屋大学ジェンダー・リサーチ・ライブラリ（GRL）
- ・参加費 無料
- ・参加者 62 名

④ 賛助会員のつどい（公開）

賛助会員の交流を図り、幅広い分野におけるジェンダー問題への理解を深めるため、毎年公開して行っている。

- ・テーマ 映画『SHE SAID／シー・セッド その名を暴け』上映と解説
- ・解説 柳澤幾美さん（南山大学ほか非常勤講師）
- ・日時 2025 年 11 月 16 日（日） 13 時 20 分～16 時
- ・会場 名古屋国際センター別棟ホール
- ・参加費 無料
- ・参加者 67 名

＊賛助会員数 169 名（2025 年度末現在）

（4）年報及びニュースレター等の発行（広報・出版活動）

① 年報『ジェンダー研究』第 28 号の発行

特集「医療とジェンダー」依頼論文のほか、公募論文、当研究所の 2024 年度事業報告等を掲載した。

<公募論文>

- ・応募期間 2025 年 4 月 15 日～9 月 30 日
- ・応募総数 10 件（一般 7 件、研究助成受託者 3 件）
- ・年報審査委員会
 - 第 1 次選考 2025 年 10 月 10 日（金） 当研究所にて選考会議
 - 第 2 次選考 2025 年 12 月 12 日（金） 当研究所にて選考会議

<内 容>

- ・発行月 2 月
- ・発行部数 700 部

・掲載内容

依頼論文	7 件
公募論文	3 件
研究ノート	1 件
訳書紹介	1 件
自著紹介	1 件

② ニュースレター『LIBRA』第 84・85・86 号の発行

ジェンダー問題に関する識者の見解、当研究所の事業などを掲載した。

・発行月 7 月（84 号）・11 月（85 号）・3 月（86 号）

・発行部数 各号 1,300 部

（5）ジェンダー問題に関する資料・文献の収集と情報提供

ジェンダー問題に関する図書・雑誌・資料を収集した。また、図書・雑誌・資料の整理を行った。

・ジェンダー問題に関する図書・雑誌の購入・受贈 図書 28 冊、雑誌 3 タイトル

・関係諸機関からの研究情報ニュース、研究誌（年報など） 24 タイトル

（6）セミナー室の貸出

ジェンダー問題に関する研究会・研修等に用いるセミナー室の貸出

2025 年度利用登録団体 6 件、年間利用件数 37 件（2024 年度 48 件）

公益目的での使用以外の貸出は行っていない。

（7）共催、後援及び他団体との連携

① ジェンダー問題に関する会議等への出席

・「名古屋市男女平等参画推進会議（イコールなごや）」への出席

2025 年 6 月 5 日（木）、2026 年 1 月 27 日（火）

・公益財団法人 あいち男女共同参画財団理事会への出席

2025 年 5 月 30 日（金）、2026 年 3 月 19 日（木）

② 共催・後援事業はなし

（8）ジェンダー問題に関する意識の啓発・普及を増進させるための内外の機関又は団体への援助

「名古屋大学ジェンダー・リサーチ・ライブラリ（GRL）」への支援

① 図書・雑誌・アーカイブの寄贈

GRL の蔵書とするため、図書・雑誌を GRL に寄贈した。

・図書 23 冊を寄贈した。内訳は、和書 23 冊である。

・雑誌 5 タイトルを寄贈した。内訳は、和雑誌 5 タイトルである。

② 運営費等の寄附

ジェンダー問題に関する研究をすすめるため、当研究所と名古屋大学の連携事業として 2017 年 11 月に開館した GRL に対し、「図書及び運営費の寄附に関する合意書」(2017 年 3 月 3 日締結)に基づき、2025 年度分の運営費寄附金 16,410,016 円(会議室使用料と併せて 17,500,000 円)を 2025 年 4 月 21 日に名古屋大学へ寄附した。

③ 会議への参画(東海ジェンダー研究所と名古屋大学による会議)

GRL 運営小委員会(8 回)に参加し、GRL の運営・事業内容等の検討を行い、事業等を支援した。

II 法人管理

2025 年度の会議開催状況は次のとおりである。

会議名	開催日	開催回数
理事会	2025 年 6 月 1 日	第 1 回理事会
	2026 年 2 月 28 日	第 2 回理事会

評議員会	2025 年 6 月 22 日	定時評議員会
	2026 年 3 月 15 日	評議員会

常任理事会	2025 年 4 月 9 日	第 1 回常任理事会
	5 月 20 日	第 2 回常任理事会
	6 月 27 日	第 3 回常任理事会
	7 月 10 日	第 4 回常任理事会
	9 月 11 日	第 5 回常任理事会
	10 月 15 日	第 6 回常任理事会
	11 月 5 日	第 7 回常任理事会
	12 月 16 日	第 8 回常任理事会
	2026 年 1 月 13 日	第 9 回常任理事会
	2 月 18 日	第 10 回常任理事会
	3 月 19 日	第 11 回常任理事会

団体研究助成審査委員会	2025 年 6 月 17 日	助成審査委員会
個人研究助成審査委員会	2025 年 6 月 17 日	助成審査委員会

機関誌編集委員会	2025 年 4 月 8 日	第 1 回機関誌編集委員会
----------	----------------	---------------

機関誌編集委員会	10月10日		第2回機関誌編集委員会
	12月12日		第3回機関誌編集委員会
年報審査委員会	2025年	10月10日	第1回年報審査委員会
		12月12日	第2回年報審査委員会
会計監査	2025年	5月15日	監事監査

Ⅲ 運営体制の充実を図るための取組み

ガバナンスの強化のため理事8名のうち6名を外部理事、評議員7名全員を外部評議員、監事2名全員を外部監事とし、理事会、評議員会等で情報を共有して、透明性の高い組織運営を図った。また、職員会議や役員による職員面接を行い、職員のガバナンス意識の向上に努めた。